

# 市政懇談会で あなたの声をお聞かせ下さい



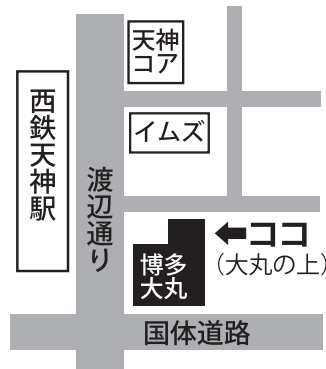
- 9月議会  
9月9～20日
- 決算特別委員会  
10月5～21日  
(いずれも予定)

今回の懇談会では9月議会の報告をするとともに、10月からはじまる決算特別委員会にむけて、憲法改悪、戦争法、社会保障の切り捨てをはじめ、暮らしの身近な問題など、みなさんの政治や市政への思いをぜひお聴かせください。

9/22 祝木

午後2時～  
天神スカイ  
ホール

※旧「福岡国際ホール」  
福岡市中央区天神 1-4-1  
西日本新聞会館 16F



日本共産党 福岡市議団

# 生活保護世帯の下水道料減免

## 廃止撤回を求める請願

# 自民・公明などが「不採択」

貧困  
対策に  
逆行

ひえじま市議は今年6月からの減免廃止によって、2ヶ月ごとに数千円の負担増になり、特に子どもの多い保護世帯で「毎日汗まみれで帰ってきても満足に洗濯できない」「フロも我慢」など深刻な影響が出ていると指摘しました。



審査後、請願した市社保協のみなさんと懇談するひえじま市議

### “二重払い”論は根拠なし

市側はあたかも生活保護費の中に下水道料が含まれているので“二重払い”されているかのように主張していますが、ひえじま市議は「厚労省に問い合わせたが、生活保護費は下水道料がいくら、被服費がいくらなどと積み上げて計算するものではないと回答した」と突きつけ、保護費の中には「含まれていない」ことがはっきりしました。

### 減免「誤りではない」市側も認めた

それでも「含まれている」とくり返す市側に対し、60年間福岡市が続けてきた減免制度は誤りだったのかと迫ると、市は「間違っただけでなかった」と認めざるをえませんでした。

また、“二重払い”だと国が問題にしたのかという問いに対して市側は、減免廃止は福岡市の「行革」の一環だと認めました。



### 黒字なのに、影響調査もせず...

このほか、決定前に保護世帯の声を聞くこともなかったこと、影響についての調査もしていないこと、下水道会計は黒字でためこみも十分あることなどが明らかになりました。

生活保護世帯に対する下水道料金の減免廃止の撤回を——切実な市民の請願が8月23日、福岡市議会第5委員会でも審査され、日本共産党のひえじま俊和市議が採択を求めて論戦しました。しかし、自民・公明・市民クラブ（民進・社民系）・維新などによって不採択とされました。傍聴者から「これだけ貧困対策が叫ばれているのに負担増を押し付けるのか」と怒りの声が上がりました。

日本共産党

ひえじま  
俊和市議

が採択求め  
論戦

各党派の態度 ※敬称略。藤本議員（みらい福岡）は委員長のため賛否に参加していない

不採択	●自民：大森一馬（早良）、阿部真之助（城南） 打越基安（南）、光安力（南）	採択	●共産：ひえじま俊和（博多）
	●大石修二（南）●市民ク：栃木義博（早良） ●維新：富永周行（南）●無所属：新村まさる（南）		●緑ネット：森あや子（東）

日本共産党 福岡市議団